



スキャンしてマニュアル
を入手

VSM-4x4X クイックスタートガイド

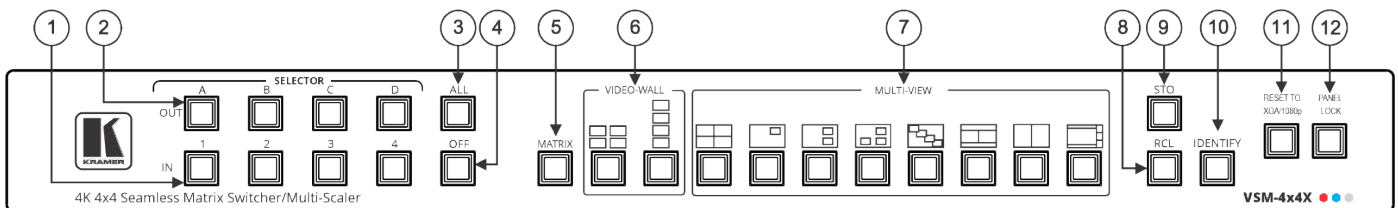
このガイドは、VSM-4x4X を初めてインストールして使用するのに役立ちます。

www.kramerav.com/downloads/VSM-4x4X にアクセスして最新のユーザーマニュアルをダウンロードし、ファームウェアのアップグレードが利用可能かどうかを確認してください。

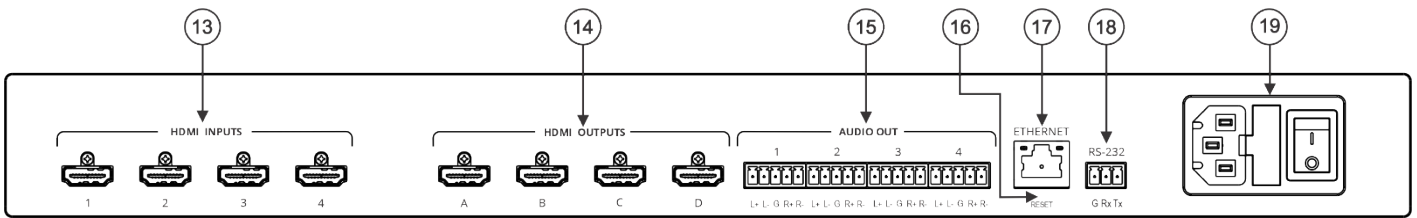
ステップ1 : ボックスの内容を確認する

- VSM-4x4X 4K 4x4シームレスマトリックススイッチャー / マルチスケーラー
- 1 電源コード
- 1 クイックスタート ガイド
- ラックイヤー(ラックマウント用金具) 1セット
- 4 ゴム足

ステップ2 : VSM-4x4X の説明



No.	項目	機能	
1	入力選択ボタン	HDMI入力(1~4)を押して選択し、出力またはウィンドウに切り替えます。	
2	出力選択ボタン	マトリックスモードの場合：入力を切り替える出力(A、B、C、D)を選択します。 ビデオウォールモードの場合：使用しません。 マルチビューモードの場合：ディスプレイ上の各ウィンドウの入力を選択します。	
3	ALL ボタン	ALL ボタンを押してから 入力選択ボタンを押すと、その入力をすべての出力に出力します。(ビデオウォールモードでは使用できません)	
4	OFF ボタン	出力選択ボタンを押した後に押すと、選択した出力が入力から切り離されます。 すべての出力を切断するには、ALLを押してからOFFを押します。	
5	マトリックスモード	MATRIXボタンを押すと、システムがマトリックススイッチャーとして動作します。	
6	ビデオウォールモード	2x2 2x2 ビデオウォールが設定されます。	
		1x4 1x4 ビデオウォールが設定されます。	
7	マルチビューモード	これらのボタンを押すと、マルチビューモードで動作します。	
		Quad 4面のウィンドウをディスプレイに表示します。	
		PiP バックグラウンド画像の上に 1面のウィンドウを表示します。	
			バックグラウンド画像の上に 2面のウィンドウを表示します。
			バックグラウンド画像の上に 3面のウィンドウを表示します。
		Stacked 4面の画像が重なり合う(アスペクト比を維持)表示をします。	
PoP 2面の画像を並べて(アスペクト比を維持)表示します。			
	2面の画像を分割画面(細長い画像)として表示します。		
1面の大きな画像と3面の小さな画像(アスペクト比を維持)を表示します。			
8	RCL ボタン	押して設定を呼び出します。	
9	STO ボタン	押して設定を保存します。	
10	IDENTIFY ボタン	押すと各出力またはウィンドウに表示される入力を表示します。表示時間はOSDメニューで設定します。	
11	RESET TO XGA/1080p ボタン	約5秒間長押しする毎に、ビデオ解像度をXGAまたは1080pにリセットします。	
12	PANEL LOCK ボタン	約5秒間長押しする毎に、フロントパネルのボタンのロック/ロック解除を切り替えます。	

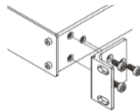


No.	項目	機能
13	HDMI 入力コネクタ	HDMIソース(1~4)に接続します。
14	HDMI 出カコネクタ	HDMIアクセプターに接続します(AからD)。
15	音声出力5ピンターミナルブロックコネクタ	バランス音声入力機器(1~4)に接続します。
16	RESET ボタン	長押ししながらデバイスの電源を入れると、工場出荷時のデフォルトパラメータにリセットされます。
17	ETHERNETコネクタ	コンピュータネットワークを介してPC又は他のシリアルコントローラに接続します。
18	RS-232 3ピンターミナルブロックコネクタ	PCまたはリモートコントローラに接続します。
19	主電源コネクタ、ヒューズ、スイッチ	主電源に接続し、スイッチでユニットのオン/オフを切り替えます。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMI Logoという用語は、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

ステップ3 : VSM-4x4Xを設置する

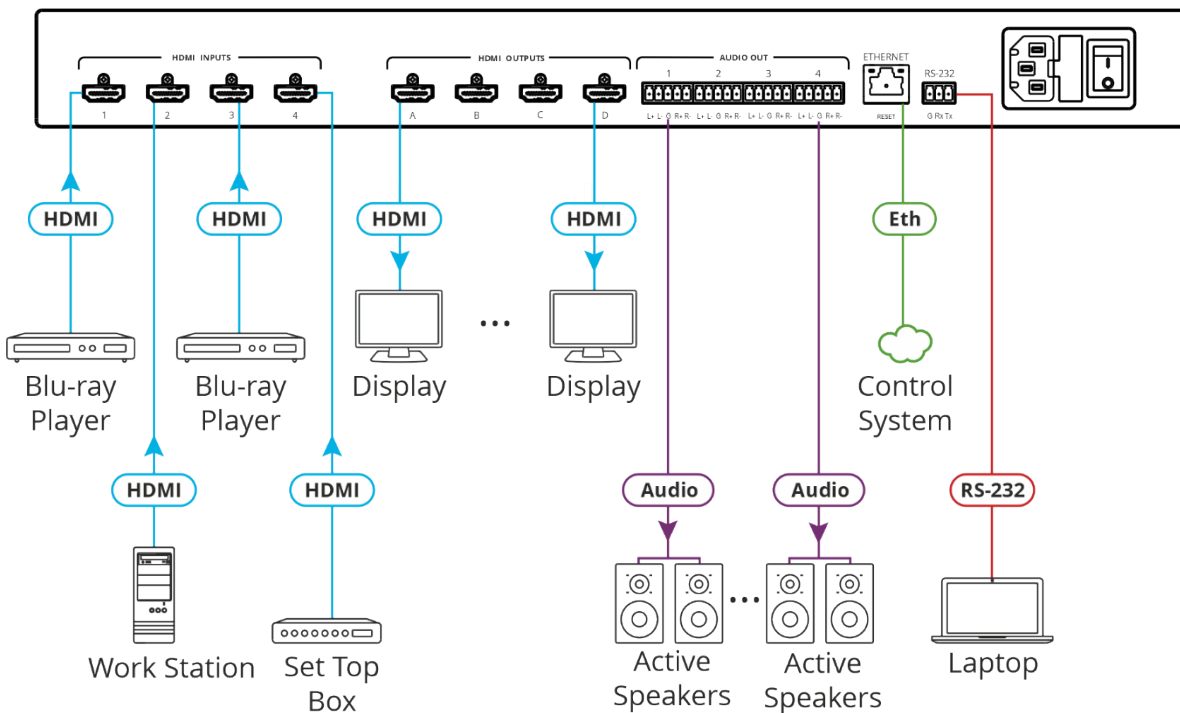
本体をラックに取り付けるには、両方のラック・イヤーを取り付けるか（マシンの両側からねじを取り外し、ラック・イヤーを通してそれらのねじを取り付けることによって）、マシンをテーブルの上に置きます。



- 環境(最大周囲温度や空気流量など)が機器仕様と整合性があることを確認します。
- 不均一な機械的な負荷を避けてください。
- 回路の過負荷を回避するために、機器の銘板定格を適切に考慮する必要があります。
- ラックマウント型機器は信頼性の高い接地を維持する必要があります。

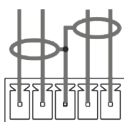
ステップ4 : 入力、出力の接続

VSM-4x4Xに接続する前に、各デバイスの電源を必ずOFFにしてください。



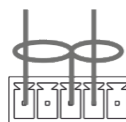
音声出力の接続

バランスステレオ音声入力の場合：



L+ L- G R+ R-

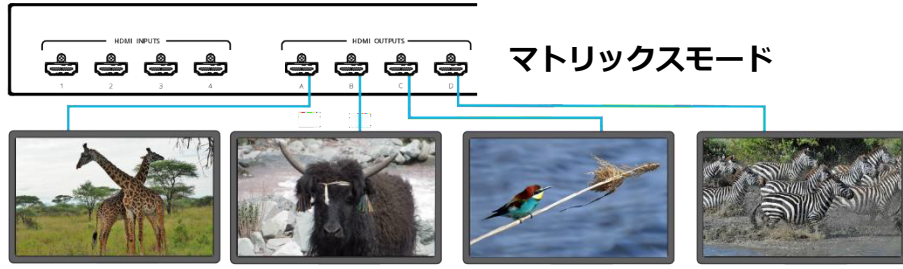
アンバランスステレオ音声入力の場合：



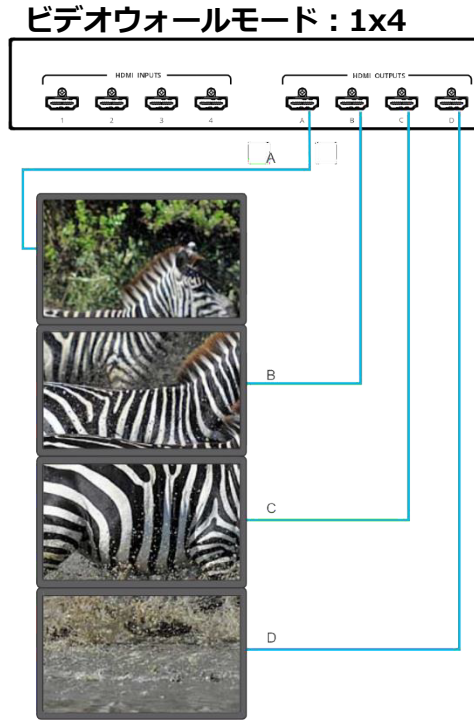
L+ L- G R+ R-

以下は、フロントパネルのボタンと内蔵Webページで設定されている各種レイアウト構成の接続例です

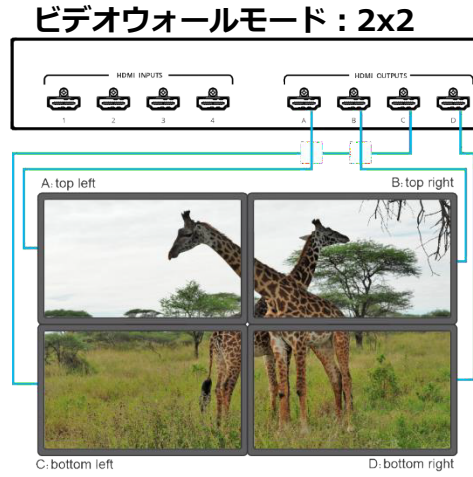
MATRIX Mode



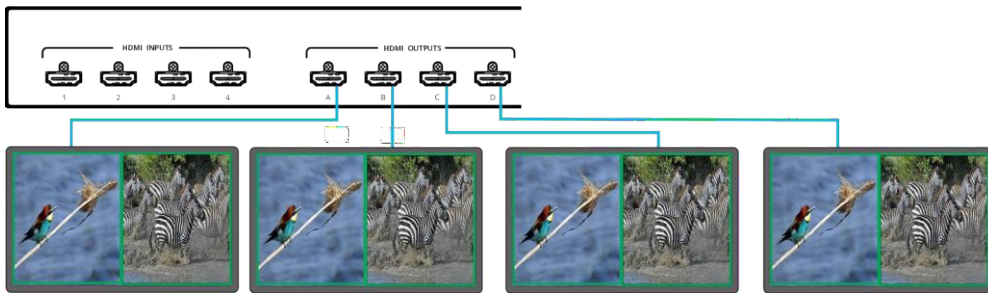
VIDEO WALL Mode: 1x4



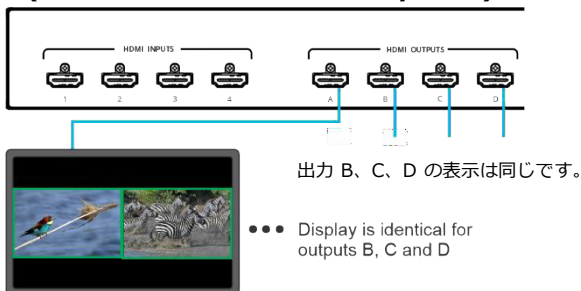
VIDEO WALL Mode: 2x2



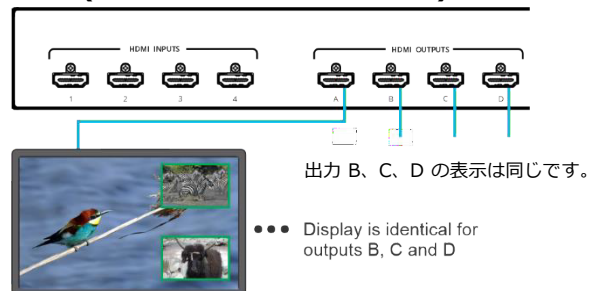
マルチビューモード：分割表示
(Multi-View Mode – Split Screen)



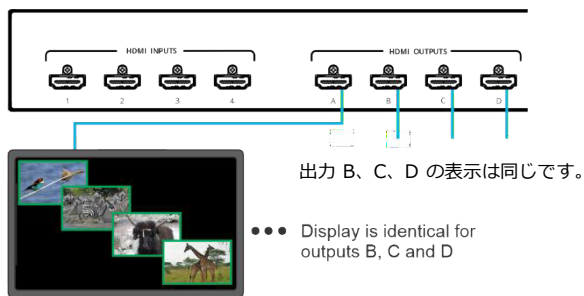
マルチビューモード：サイドバイサイド
(Multi-View Mode – Side by Side)



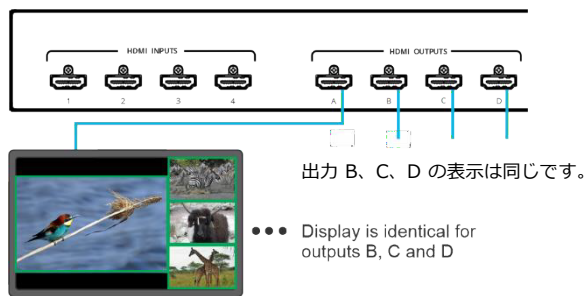
マルチビューモード：PiP 2
(Multi-View Mode – PiP 2)



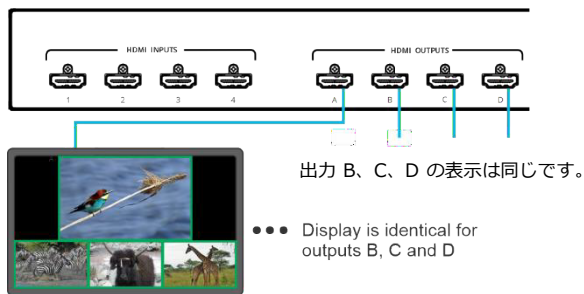
マルチビューモード：階層表示 (Multi-View Mode – Stacked)



マルチビューモード：POP 3 (サイド) (Multi-View Mode – POP3 (Side))



マルチビューモード：POP 3 (ボトム) (Multi-View Mode – POP3 (Bottom))



ステップ5：電源を接続する

電源コードをVSM-4x4Xに接続し、主電源に差し込みます。

安全上の注意(最新の安全情報については、www.kramerav.com を参照してください)



注意：

- リレー端子とGPI/Oポートを備えた製品については、端末の横またはユーザーマニュアルにある外部接続の許容定格を参照してください。
- ユニット内に使用者が保守可能な部品はありません。

警告：

- 本体に付属の電源コードのみを使用してください。
- 取り付ける前に、電源を切断し、電源コンセントから抜いてください。
- 本体を開けないでください。内部には高電圧部がありむやみに触れると感電するおそれがあります。サービスは、資格を持った担当者のみとなっています。
- 継続的なリスク保護を確実にするために、ユニットの下部にある製品ラベルに指定されている定格に従ってのみヒューズを交換してください。

ステップ6：VSM-4x4Xを操作する

次の方法で製品を操作します：

- フロントパネルのボタン
- リモートで、タッチスクリーンシステム、PC、または他のシリアルコントローラにより送信されるRS-232シリアルコマンドによる。
- イーサネット経由で内蔵Webページ。

RS-232制御/プロトコル3000			
ボーレート：	115,200	パリティ：	None
データビット：	8	コマンドフォーマット：	ASCII
ストップビット：	1		
例：(表示モードをPOP3 (サイド)に設定：#VIEW-MOD 5			
デフォルトのイーサネットパラメータ			
IPアドレス：	192.168.1.39	UDP ポート #：	50000
サブネットマスク：	255.255.0.0	TCP ポート #：	5000
ゲートウェイ：	192.168.0.1		